

まちづくり分野では全国初となる S I B を活用した業務が完了しました

馬場川通りの地域コミュニティの再生やエリア価値の向上のために実施してきた、まちづくり分野では全国初となるソーシャル・インパクト・ボンド（S I B）を活用した業務が完了しました。この業務は歩行者通行量を成果指標とし、地域まちづくり勉強会や屋外空間の利活用に関する社会実験などを実施し、その達成度合いにより支払額が変動するものです。

1 概要

業務名：S I Bによる前橋市アーバンデザイン推進業務

業務期間：令和3年9月16日～令和6年7月31日

受託者：一般社団法人前橋デザインコミッション

委託金額：1,310万円（固定払い：740万円、成果連動払い：0～570万円）

2 S I B業務

仕様書に基づき実施内容を指定する通常の業務発注とは異なり、受託者の創意工夫やノウハウを活かすことで、事業の質及び成果の向上が見込まれる成果連動型業務委託契約（Pay for Success：PFS）を活用し、民間主体のまちづくりの効率的、効果的な推進を目指すものです。

勉強会や社会実験の実施による固定払い740万円と、令和6年6月の歩行者通行量による成果連動払い0～570万円の構成です。

P F Sの手法の一つであるS I Bは機関投資家が受託者に対して資金提供することが特徴であり、本件では第一生命保険(株)が資金提供し、リスクを含む最終成果を両方で共有する投資スキームとなっています（別紙参照）。

3 成果

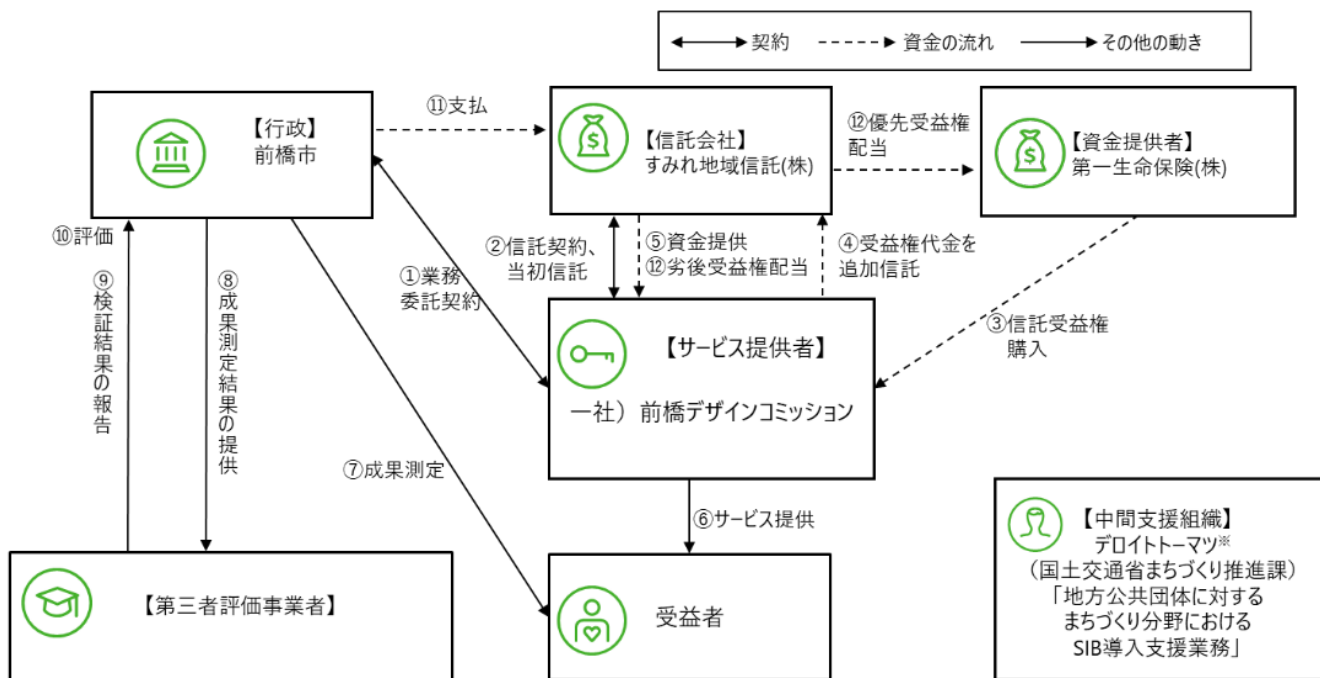
成果指標には過去の歩行者通行量データを基に、現状維持をC評価とし、A～Dの4段階で評価しました。定められた勉強会や社会実験のほかに、まちづくり人材の育成やフォローアップを継続したことにより定期的開催される取り組みが生まれる等、前橋デザインコミッションによる工夫を凝らした取り組みにより6月の通行量は51,039人で、A評価となりました。

S I Bを活用した業務により、通常の業務発注では成し得なかった多くの市民を巻き込んだ取り組みを継続的に実施する仕組みを作ることができました。

担 当 市街地整備課官民連携まちづくり係

電 話 027-898-6946（内線：3946, 3947）

SIBによる前橋市アーバンデザイン推進事業



※ 本スキームでは、中間支援組織は直接の契約主体とはならないものの、実態としては事業全体の企画設計・推進・コーディネート等に関与。

●成果指標と成果ごとの支払額

成果指標	基準値	
馬場川通りにおける1カ月の歩行者通行量	A	50,432人以上
	B	47,910人以上
	C	45,388人以上
	D	45,387人以下

